

2019年度 藤枝学院高等専修学校  
自己点検・評価項目および学校関係者評価報告書

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4			4	新人教員が入職した場合の対策を考慮しておいた方が良いと思う。
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4			4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4			4	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	4			4	

## 2. 教育活動

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	4			4	資格の取得数が向上しているのは引き続き継続できるようにして欲しい。 上級受験者の合格率を上げる努力は今後も引き続き取り組みを強化してほしい。
定期的なカリキュラムの見直しが行なわれているか	4			4	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	学校独自の教材（職業とキャリア）を作成完了。実状に適したものを使用しているが、更なる研究と対応科目の増加も必要。	生徒の実情に合わせた学校独自の教材を充実させる。	3	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	4			4	
資格試験の合格率は	4	昨年度に比べ、取得率の向上並びに希望者受験の資格への取り組みが増えた。		4	
資格試験不合格者の対策は	3	放課後に研修会を設けているものの、自らの意志で研修に参加する生徒がまだ少ない。	継続的な指導よりも短期集中の指導方法が向いている生徒もいるため、短期集中による研修を充実させる。	3	
評価は適切な方法で行われているか	4			4	
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローが行なわれているか	3	目標に到達していない生徒に対し、個々に対応するようにしているが、教員がいないと学習できない生徒がいる。	自学自習できる生徒と教員がついての指導が必要な生徒とそれぞれに適切な対応をしていく。	3	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4			4	

### 3. 生徒受入

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	4	生徒募集のための資料の表現・内容については毎年見直しをしており特に問題はないが、募集活動の方法・時期については変化がみられる。	中学校の先生方に早い段階から進路に対しじっくり考えていくことのメリットのPRを強化する。	4	新型コロナウイルスによる入試の動向に注視しつつ進める必要がある。
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4			4	
募集要項の内容は適切か	4			4	
学校見学会の時期、内容は適切か	4	※学校見学は随時受付		4	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4			4	
志願者状況、定員充足率はどうか	3	入学者数は一頃に比べ改善傾向にあるが定員の充足率は改善する必要がある。	志願者数を増やすためには、まず在校生が生き生きと活動し、学校に対する満足度を上げる必要がある。即ちそれは口コミによる広報活動の拡充につながる。見学者数を増やすためには、中学校の先生方に対し、専修学校の教育について理解を深めてもらえるように定期的、継続的な募集活動を行う。	3	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4			4	

#### 4. 教職員組織

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	4			4	専任教員が担当している時間数が少し多いので、講師の担当時間数を増やすなどをして、その分を専任教員が他の指導ができるようにするのが望ましい。
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3	一人当たりの担当科目が多いため改善が必要。	時間講師の増員を図る。	3	
教職員の業務分掌は明確になっているか	4			4	
教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4			4	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4			4	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	担当時間数が過大になっている。	非常勤講師の雇用を図る。	3	

## 5. 施設・設備等

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	今後のネットワークを使った授業を考えると、通信環境が少し脆弱な部分があるので将来を見越した増強が必要。
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	
実習設備は整備されているか	3	生徒がパソコンを使って共有フォルダへ個人のデータを保管するなどネットリテラシー教育の充実を図る必要がある。	情報科目に留まらず、多方面からの教育を実施。	3	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	4			4	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	4	学習室を2か所準備。また個別対応可能な学習スペースを新たに設置した。		4	
保健室は適切に整備されているか	4			4	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	4			4	
職員室の管理は適切に行われているか	4	※改善済み		4	
事務室の管理は適切に行われているか	4	※改善済み		4	

## 6. 生徒生活支援

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	4		今後も更なる工夫が必要。	4	自然災害に対する対策はもとより、新型コロナウイルスに対するマスクや消毒液の備蓄量を増やす必要がある。 また、実際に災害が発生した場合、マニュアルを遵守しつつ臨機応変に対応できるようにしておくことが望ましい。
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4			4	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	4			4	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4			4	

## 7. 管理・運営

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4	改善済み		4	特になし。
個人情報保護法を遵守しているか	4			4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4			4	

以上、本校の教育研究活動等の状況について報告します。